

令和 6年12月12日

東松島市議会議長 小野 恵章 様

(会派名) 松桜会

代表者氏名 櫻井 政文

### 会派活動実施報告書

東松島市議会政務活動費をもって、下記の会派活動等を実施したので、報告します。

1 会派活動の項目 (該当を○で囲む)

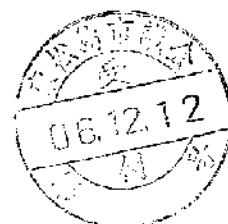
調査研究費    研修費    広報費、 広聴費、 要望・陳情活動費、 会議費

2 活動名称： 松桜会視察研修

3 実施期日： 令和6年11月13日(水)～15日(金)

- 4 活動成果：①能登地方(輪島市、珠洲市、能登町)の地震及び豪雨災害の復旧・復興の現状視察を行なった。道路の片側通行、被災家屋の解体の遅れ、災害公営住宅の整備、災害関連死の多さ等、課題が多く、復旧、復興が遅々として進んでいない事を現場を見て実感した。
- ②氷見市では移住・定住の取り組みについて学んだ。  
氷見市は住みたい田舎ベストランキングで上位に選出されている。移住に対する補助金の手厚く、子育て政策においても独自の支援策を構築しており、見習う点が多かった。
- ③富山市ではひとり親家庭スマート学習支援事業について研修を受けた。貧困の連鎖の解消、きめ細かい各種助成や支援策が学習支援に繋がっていることを理解した。

5 添付書類： 会派報告書



## 能登地方（輪島市、珠洲市、能登町）の地震及び豪雨災害の復旧・復興の現状視察

松桜会は、11月14日に七尾市から輪島市、珠洲市、能登町の順で災害地域を回った。想像していた以上に被災の状況は厳しいものであった。

能登地方は元日の大地震と9月の豪雨災害と重なる激甚災害を被った。

豪雨では、河川が20か所以上氾濫、流木がいまだ片付けられていない。倒壊した建物がそのまま工事車両が見られない。復旧が進んでいないのを実感する。

岸壁が隆起、道路寸断、片側通行、解体業者の多くが金沢市現場まで2時間30分かかるため、業者が被災地に入るのに時間がかかりすぎるのが問題である。また、業者が泊まる宿泊施設がない。

能登町では、東松島市から自治法派遣で復興支援に当たっている阿部修氏を訪問、復旧状況を聴取し、激励した。

阿部氏は「古い家が倒壊、壊れていない家もある。被災家屋の解体が進まない一つの理由は、家と家の間が狭いこともあげられる。道路の応急復旧、災害公営住宅の整備が課題である。災害関連死の多さは熊本地震を越える。半島での震災は集落を孤立させる」と語った。

今後、防災庁の整備、東日本大震災の経験をいかに活かすかが課題であると感じた。

## 富山県氷見市行政視察報告書

温暖な気候で豊かな自然と豊かな海の幸・山の幸に恵まれ歴史が古く、人口は43,205人と震災前の当市とほぼ同じであり、1次産業809人4.05%、2次産業7,202人32.77%、3次産業13,220人60.15%である。

平成の大合併には参入せず、氷見らしいまちづくりを目指し単独市制を選択した。

### 1、移住定住への取組について

令和6年11月15日 午前9時30分 議事堂特別会議室において、  
氷見市企画政策部移住定住推進課が対応。

#### (1) 移住に関する補助金制度の全般について

定住マイホーム取得支援補助金・住宅リフォーム支援補助金・定住促進賃貸住宅家賃補助金・まちなか地区居住支援補助金・移住世帯生活応援金・移住支援金（国・県・市）と幅広く、移住者自動車運転支援補助金も用意されている。

#### (2) まちなか地区移住支援補助金交付制度について

空き家片付け支援補助金・氷見市空き家情報バンク登録促進奨励金・仲介手数料0円空き家バンク・空き家優良物件化支援補助金・空き家利活用モデル支援補助金等が設置されている。

#### (3) 空き家情報バンクについて

個人、不動産事業所が登録申込を市に提出し、登録依頼を氷見市IJU応援センターで登録し、氷見市空き家情報バンクをホームページで公表、空き家所有者と空き家希望者とのマッチングを行い、交渉契約の仲介等は行わない。（暮らし方の提案や動画による物件紹介と周辺環境等も紹介されている。）

#### (4) みらいエンジンについて

氷見市の暮らしの魅力を発信し、氷見への移住を考える方を全力で応援し、人と人とを繋ぐ総合窓口です。移住により続々生まれる新しい魅力と住まい・仕事・暮らしの移住を決める3要素を重視し移住の方々を応援している。また、体験ツアー等の費用は当市と違い自己負担で対応されている。

#### (5) 移住者と地域コミュニティとの協調性について

移住者同士の交流を図る目的に加え、地域住民や移住を検討している相談者参加可にし、移住者の開業した店を中心に、新しい出会いと交流の場を設け、年2回ほど企画し交流の場を提供している。その中で、各自治会の取り組み内容等も紹介されていた。多文化共生の中で、各自治会の受け入れ体制がよいと入りやすい傾向が見られている。

【所感】

氷見市は、人口3万～5万未満の市の「田舎暮らしの本」2024年2月号にて掲載の「住みたい田舎ベストランキング」にて、「人口3万～5万人未満の市、若者世代・単身世代部門」第2位に選出され、手厚い子育て支援日本一を目指し、1歳児～3歳児の保育料無料化・高校3年生までの医療費無料化と0歳児おむつ無償化（満1歳までのおむつ代相当額6万円を給付されている）

人口減少・少子高齢化はどこ自治体でも同じ課題でありながら、氷見市については、近隣市町村を注視しながら独自の支援策を構築され、移住対策が上向きに推移されていた。

本市も見習うべきところは見習い、本市発展の為に鋭意努力し取り組んでいただきたい。

## 富山県富山市研修報告書

### 1. 研究の目的

富山県が「全国学力・学習状況調査」で成績上位の常連である理由について、富山市の取り組みを参考に、東松島市の学校教育に資することを目的にする。

### 2. 研究事項及び質疑事項

ひとり親家庭スマート学習支援事業について

1. この事業を立ち上げたきっかけは
2. 予算額はどのくらいか、財源は何を活用したのか
3. 児童の学力の向上につながったか、また家庭からの評価は。
4. ひとり親家庭の支援事業全般について

#### 調査概要

◎この事業を立ち上げたきっかけは

##### (1) こども家庭部の新設

こども政策の一元化を目指し、切れ目のない子育て支援体制の強化

◎予算額はどのくらいか、財源は何を活用したのか

中学生 6,000千円、高校生 5,610千円（国費は1/2）

ひとり親家庭等ががんばる受験生応援事業 受験料・模試費用補助

予算 3,000千円（国費は1/2）

- ・中学生には通所学習支援をメインに回数は年24回、1回2時間、市内3カ所で開催、令和6年からはWEBコンテンツを提供
- ・高校生にはオンライン学習支援をメインに通所学習支援を年16回オンライン会議システムを活用し、年16回実施、WEBコンテンツを提供

◎児童の学力の向上につながったか、また家庭からの評価は。

アンケート結果については、

高校生は27.3%成績が上がった。保護者の36.4%が満足

中学生は37.2%成績が上がった。保護者の36.6%が満足

◎ひとり親家庭の支援事業全般について

・子育てと仕事の両立支援

- ①病児保育利用助成
- ②ファミリー・サポート・センター利用料助成
- ③放課後児童クラブ利用料助成
- ④保育料の減免

・経済的支援

- ①児童扶養手当児童（18歳に達する日以後最初の3月31日）を養育するひとり親家庭等へ、児童の健やかな成長を願って支給する手当

- ②ひとり親家庭等医療費助成  
健康の保持及び生活の安定を図ることを目的に医療機関等の支払う医療費（保険診療の自己負担分）を助成しています。
- ・心の支援
  - ①ひとり親アテンダント  
一人ひとりに寄り添ったサポート関係機関との連携強化
  - ②養育費等の確保の支援  
インフォメーションファイルの作成  
公正証書等作成促進補助金
- ・自立（就業）支援
  - ①自立支援教育訓練給付金  
ひとり親家庭の親の主体的な能力開発の取り組みを支援し、就業と自立の促進を図るため、雇用保険制度の教育訓練講座の受講料の一部を支給
  - ②高等職業訓練促進給付金  
ひとり親家庭の親が就職の際に有利な専門的資格の取得を促進するため養成機関に修業する場合、高等職業訓練促進協付近を支給します。
- ・子どもの教育支援
  - ①ひとり親家庭奨学資金給付  
ひとり親家庭の子供の大学等進学後の修学を支援するとともに国家資格等の取得による就業をサポートします。
  - ②ひとり親家庭学習支援  
前段で詳しく記述
- ・その他の支援（他部局と連携）
  - ①ひとり親家庭等家賃助成（最大月額1万円を助成）
  - ②がんばるママ・パパに「ありがとうと花束をプレゼント」
  - ③企業への支援（ひとり親雇用奨励金を交付）

## 所感

富山市の取り組みを研修させて頂いた感想として、学力向上への特別な取り組みは実施されていないが、手厚い子育て支援策を構築していることが学習支援に繋がっていると感じた。貧困の連鎖が解消することによって自ずと学力向上に成果が出ていると理解した。

子育て支援に力を入れている本市としても今後の教育部門の課題解決についてよいヒントを頂いたと思う。